

地球の未来を考える

ケンタロ・オノ氏講演会「地球温暖化とキリバス」開催

ケンタロ・オノ氏を講師にした講演会「地球温暖化とキリバス」が、12月20日（ただみコミュニティクラブ）、21日（只見中PTA講演会）で開催しました。

講演会では、昨今の異常気象の話や地球温暖化の影響により海に沈んでしまう国があるということ話し、SDGsに対する取り組みの重要性を講演されました。

今回の講演は、ケンタロ・オノ氏の「沈んでしまう国があることを知ってもらいたい。地球の未来のため出来ることを知ってもらいたい」という思いから、無料配信されており、以下のURLから4月末までご視聴が可能です。ぜひご覧ください。

視聴用URL：<https://youtu.be/BFeewBDWJFo>



▲環境問題取り組むことの重要性を講演したケンタロ・オノ氏

迫力のはく製展示

ブナセンター企画展「只見の猛禽類」開催中



▲イヌワシの貴重なはく製が見られます。ぜひご覧ください

ブナセンター企画展「只見の猛禽類」が、12月4日からただみ・ブナと川のミュージアムで開催中です。只見町で確認されている14種のワシタカ類についての生態や自然環境との関わりを紹介しています。また、クマタカやそれらの餌となる小動物なども展示されていて、食物連鎖の関係性も学ぶことができます。

今回は、福島県立博物館所蔵のイヌワシのはく製も展示され、初日から多くの方が足を運びました。

イヌワシのはく製は、4月4日の公開終了まで展示され続ける予定です。ぜひこの機会に「ただみ・ブナと川のミュージアム」にお越しください。

只見中学校の取組みに感謝状

「人権作文コンテスト感謝状」伝達

只見中学校が、「第40回全国中学生人権作文コンテスト感謝状」の表彰を受け、12月22日に只見町人権擁護委員の角田さんから感謝状が伝達されました。

只見中学校は、3年生全員が人権作文コンテストに出品しており、多数出品したことや中学生の人権問題への意識の高揚につながったことから感謝状が贈られました。

角田さんは、「この表彰は、1、2回の取り組みが評価されただけでなく、積み重ねてやってきたことが評価されたものだと思う。これからも続けてほしい」と話されました。



▲表彰状を受け取った増田さんと松永さん

只見町の未来のために

朝日小学校「6学年児童発表会」開催

朝日小学校6年生が、総合的な学習の時間で学んだ成果を12月22日に役場町下庁舎で発表しました。

発表は、積雪量などのデータを用いながら、気候変動が生態系の変化や農産物への悪影響をもたらすことを解説し、それらを食い止めるために節水などの「ワンステップアクション」に取り組んでほしいことなどを訴えました。

また行政への提案として、「今回学んだ内容を多くの人と共有できる場をつくること」、「公用車や公共交通機関をエコカーにしてほしい」と話しました。



▲川の水温上昇の大変さをシャワーの温度を例に解説するなど、分かりやすく丁寧に解説しました

一筆一筆を大切に

明和振興センター「書初め教室」開催



▲児童たちは1枚1枚丁寧に書きました

明和小学校児童を対象とした「書初め教室」が、12月27日に明和振興センターで開かれました。目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻が講師を務められ、「福島県書きぞめ展」の課題である「とら年」、「美しい光」などを練習しました。

仁也さんは「タブレットやスマートフォンが普及し、字を書く機会が減ってきています。これからデジタル化がさらに進む中でも、字をしっかりと書けるようになってほしいです。習字は、集中力が高まり礼儀作法も身に付くので、姿勢を意識して書いてください」と伝えました。

ウィンタースポーツ本番

町内3小学校「スキー教室・記録会」開催

町内各小学校で、保護者の方々の協力でスキー教室・記録会が行われました。

スキー教室初日の練習ではやっとターンをしていた児童も、保護者の指導の下で練習をするうちにスムーズにターンを決めることができるようになり、コースを滑ることができるようになりました。

また記録会では、教えてもらったことを発揮して自己記録に挑み、成長した姿が見られました。笑顔でゴールする児童も見られ、楽しいスキー教室・記録会になりました。



▲本番前に試走をする児童（只見小）

学生たちが只見町の魅力を発信

「只見の『魅力』発見オンラインツアー」開催

「只見の『魅力』発見オンラインツアー」が12月23日に喜多方市塩川公民館で開催され、合同会社ねっかや季の郷湯ら里と中継を繋ぎながら只見町の食や芸能の紹介が行われました。

このツアーは、県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科2年生が企画・運営し、司会やレポーターも学生が行いました。

中継先では、只見の雪景色と共にねっかの蒸留所の紹介や打ち豆、マトンの紹介が行われました。最後には只見つくし会の皆さんによる只見音頭が披露されました。

また会場の塩川公民館にはマトンケバブが届けられ、参加者は味覚と視覚の両方で只見町を楽しみました。



▲記念撮影を行い、大盛況のうちに幕を閉じました

新しい年を楽しむ

只見スキー場「お正月歓迎イベント」開催



▲膝上くらいの雪をかき分けて進む子どもたち

会津ただみ振興公社が主催する「お正月歓迎イベント」が、1月1日に只見スキー場で開かれました。

イベントでは、長谷部支配人から新年のあいさつの後、雪中宝ひろいが行われ、参加者は雪をかき分けながら宝を探しました。その後、ロッジ内でおしるこが振舞われ、宝ひろいで冷えた身体を温めました。

参加した子どもたちは「雪がたくさんあって宝がなかなか見つからなかったけど、楽しかったです」と話しました。

冬の只見町の暮らしを楽しむ

3振興センターで冬期講座開催

冬期間でも体を動かしたり手仕事を楽しんだりすることを目的とした冬期講座が、各地区振興センターで開催されました。フラワーアレンジメントやエクササイズ、つる細工などの講座が開催された他、初めての本に関する講座「やっぱり本が好き」では、菅家成美さんを講師に本の紹介や朗読が行われました。

つる細工の参加者は「昔はつるを編んだり藁をよったりして、冬の生活としていた。できる人が少なくなりましたが、講座などで人が集まれるうちは続けていきたい」と話されました。



▲只見振興センター「つる細工講座」



▲朝日振興センター
「ストレッチ&エクササイズ」



▲明和振興センター「やっぱり本が好き」

長年の功績が称えられました

本名誠さんが瑞宝単光章を受章

元只見町消防団副団長の本名誠さん（黒谷）が消防功労による瑞宝単光章を受章され、1月13日に伝達式が行われました。

本名さんは、昭和53年から40年間消防団に所属し、平成18年から退団されるまでの12年間は副団長を務められました。

今回の受章について渡部町長は「災害発生時には、長年の経験を生かした的確な指示で、被害を最小限に食い止めていただいた。それらの活動を支えてきたご家族の皆様にもあわせて感謝します」とお祝いの言葉を贈りました。



▲受章された本名誠さん（中央）

只見中 中学生記者が書く SDGs コラム

第1回

SDGsってなんだろう？

文：堀金 康太（3年生）



SDGsとは国際連合が2015年に制定した持続可能な開発目標のことであり、世界中の誰もが取り残されずに幸せに暮らすための具体的な目標を決めたものです。子どもから大人までわかりやすくするために、17のカラフルなアイコンで表されています。

具体的には『#1 貧困をなくそう』『#8 産業と技術革新の基盤を作ろう』など一つの分野に限らず、世界全体の幸せを2030年までに達成しようというものです。国や地域を越えて助け合う気持ちを持って取り組むことを目標としています。

只見中学校では特に『#14 海の豊かさを守ろう』というゴールを目指し海辺の清掃をしました。その時に多かったゴミがプラスチックの容器やボトル、レジ袋でした。

このことから、新聞紙でレジ袋を作って只見町内の商店や薬局で置いてもらっています。このゴールが設定されている2030年まで残り8年となりました。只見でも東京でも関係なく、地球上の皆さんが17のゴールを目指し取り組むことで、より良い世界になることを願っています。

皆さんも身近なところから始めてみませんか？

